



吉子川

令和6年4月24日(水)
 学校だより NO.4
 中島村立吉子川小学校
 発行責任者 校長 木戸 美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条 (4月)
 早寝早起き朝ご飯
 規則正しい生活がスタートライン

◇ ちょボラ (ちょっとしたボランティア) ~お昼休み編~ ◇

4月22日(月)学校に来てみると、先週末に比べ、校庭の雑草が多く生い茂っていることに気がきました。桜の花はすっかり散り去っています。いよいよ新緑の季節の到来なのだと実感します。

5月18日(土)には、創立150周年大運動会が行われますが、その頃には、校庭の木々は、初々しい若葉の緑が増すことと思いま

す。さわやかな季節となり、目にしたものの気持ちを清々しくしてくれることでしょう。そんな中、一足早く、子ども達のさわやかな行動で、心洗われる出来事がありました。



4月22日(月)の出来事です。お昼休み、ふと、草むしりをしてみようかなと、思いつき、楽しみ半分でむしり始めたときのこと。「ぼくもやりたい」「校長先生交せてください」と、まるで鬼ごっこに交ぜてもらう時のように、声を掛けてくれる子ども達がいきました。子ども達は、草をむしりながら、自然からいろいろなことに気付かされていきます。「土が固いから抜きにくい」「雨が降った後は抜きやすい」「この草の根っこはふわふわした細かい根っこで抜きやすい」「こっちは太くてタンポポの根っこに似ている」。会話が弾み、あっという間に昼休みが終わりました。

まさにちょボラ。ボランティアというと奉仕作業と捉えがちですが、自分からちょっとした温かい気持ちで行動することで誰かをサポートすることができるなんて、素晴らしいと思います。日常的に持続可能なちょボラ。私は、なんとも言えない充実感で心が満たされ、幸せな気持ちになりました。

◇ もう一つのちょボラ~登校編~ ◇

4月23日(火)、ゴミばさみを持って登校する子がいました。今日の授業で使うのかなと思ったのも束の間、集合場所に到着すると、お家の方がゴミばさみを受け取ってしまいました。聞いてみると、ゴミ拾いをしながら登校したとのこと。優しい気持ちになり、1日気持ちよく過ごせました。ありがとうございました。

